

# Takamine

## Takamine PRE-AMP

# PTU (CT-4B II)

# オペレーション マニュアル

このマニュアルでは、チューナーを搭載したPTU(CT-4B II)プリアンプの機能についてご説明させていただきます。正しい操作方法をご理解いただき、末永くご愛用ください。

### ① バッテリーボックス

006P/9V電池を使用。プラグをギターのジャックに差し込んだ状態でONになりますので、電池の消耗を防ぐため使用時以外はプラグを抜いておくようにしてください。

### ② LOW

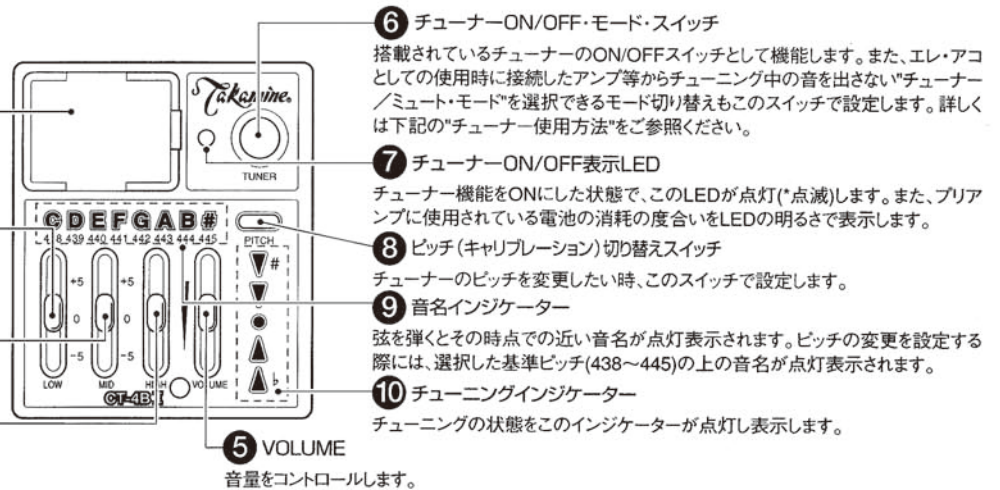
低音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。

### ③ MID

中音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。

### ④ HIGH

高音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。



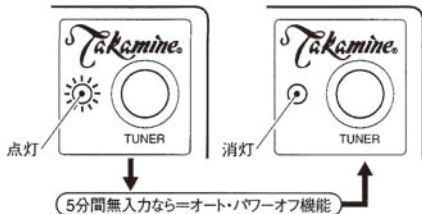
## チューナー使用方法

- ⑥のチューナーON/OFF・モード・スイッチをONにし、チューナーを起動させます。  
※チューナーON/OFF・モード・スイッチは、ギター本体のエンドピン・ジャックにギター・ケーブルを接続しない生ギターとしての使用時と、ギター・ケーブルを接続したアンプ等を使って再生するエレ・アコとしての使用時では、機能が異なります。

### (生ギターとして使用時)

生ギターとしてチューナー機能のみを使用する場合、エンドピン・ジャックにギター・ケーブルを接続する必要はありません。

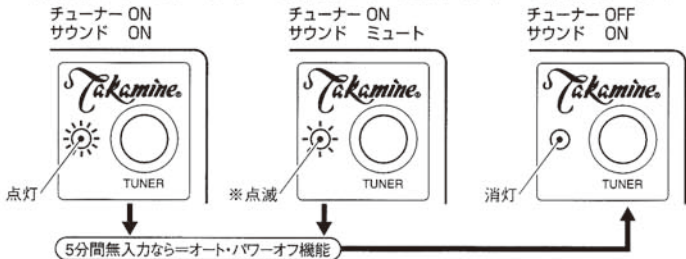
1回押し:チューナーON → 2回押し:チューナーOFF



### (エレ・アコとして使用時)

ギター本体のエンドピン・ジャックにギター・ケーブルを接続し、エレ・アコとしてご使用の場合、チューナー機能は以下の通りにモード設定でき、チューニング中の音を出さない"チューナー/ミュート・モード"も選択できます。

1回押し:チューナー/プリアンプモード → 2回押し:チューナー/ミュート・モード → 3回押し:プリアンプモード



- 弦を弾きます。その時点での近い音名が半音単位で音名インジケータ⑨に点灯表示されます。半音の場合は、音名とインジケータの#マークが同時に点灯します。
- 点灯する音名インジケータ⑨と、チューニングインジケータ⑩を見ながらギターの音程を調整します。チューニングしたい音名のインジケータが表示され、チューニングインジケータの中央●(緑色のLED)が点灯したらチューニングが完了です。

## チューニング時のご注意

- 搭載されているチューナーは、高感度に設計されているため、最初に入力した音より次に入力された音が大きくずれた場合、自動的に雑音として判断し、表示しないことがあります。例えば弦を強く(あるいは弱く)弾き過ぎたときや、連続して弾いたときなどです。より、正確にチューニングするため、ゆっくり弦を弾くことをお勧めします。
- 周囲の電気機器などから発生する強いハムノイズを拾い、インジケータが不特定に表示される場合がありますが、故障ではありません。ギターの弦を弾き音が入力されると、正常にチューニングできます。

## ピッチ設定(キャリブレーション)の方法

- ⑥のチューナーON/OFF・モード・スイッチをONにし、チューナーを起動させます。
- ピッチ切り替えスイッチ⑧を1回押しすと、キャリブレーションモードとなり、現在設定されている基準ピッチを示す音名インジケータが点滅します。(初期設定はA4=440Hzです。)
- 音名インジケータが点滅しているとき、再度、ピッチ切り替えスイッチを押すごとに音名インジケータの点滅位置は1ステップ(1Hz)づつ移動します。希望する基準ピッチに達したらピッチ切り替えスイッチの操作を止めます。

### 点灯する音名インジケータ

▶ 基準ピッチ: C 438 → D 439 → E 440 → F 441 → G 442 → A 443 → B 444 → # 445

- 操作を止めた時点から約2秒後に自動的にチューニング・モードへ戻ります。尚、チューナーON/OFF・モード・スイッチ⑥をOFFにしても、設定された基準ピッチはバックアップ(保存)されます。エレ・アコとしての使用時も、電池残量が無くなる限り、ギター・ケーブルの接続プラグの抜き差しによるON/OFFをおこなっても、設定された基準ピッチはバックアップ(保存)されています。

## チューナー電源についてのご注意

生ギター/エレ・アコどちらでご使用の場合も、チューナーをONにした状態で、5分以上ギターを弾かない(入力が無い)場合、自動的にチューナーがOFFになるオート・パワー・オフ機能が搭載されています。この機能はチューナー使用時の電源切り忘れによる電池の消耗を防ぐためのもので、無入力状態が続いた後に、自動的にチューナーがOFFになっても故障ではありません。オート・パワー・オフ機能は、チューナーのON/OFFにのみ有効で、特に生ギターとしてのご使用時にチューナー機能のスイッチの切り忘れによる不用意な電池消耗を防止するのに効果的です。エレ・アコとしてご使用の場合も、チューナーのオート・パワー・オフ機能は有効ですが、プリアンプのサウンド設定機能のON/OFFはエンドピン・ジャックへのギター・ケーブルの抜き差しによってのみおこなわれますので、ギター・ケーブルの抜き忘れは、電池を消耗する原因となります。以上の点にご注意頂き、電池を不用意に消耗しないようご注意ください。